

TelePresence Server、MCU、IP VCR、およびゲートウェイのネットワーク パケット キャプチャ

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[Cisco TelePresence Server、MCU、IP VCR、およびゲートウェイからのネットワーク パケットのキャプチャ](#)

[nettap のオプション](#)

[インターフェイス](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco TelePresence Server、マルチポイント コントロール ユニット (MCU)、IP ビデオ会議レコーディング (VCR)、およびゲートウェイからパケットをキャプチャする方法を説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco TelePresence Server
- Cisco TelePresence MCU シリーズ
- Cisco TelePresence Advanced Media (AM) Gateway 3600
- Cisco TelePresence ISDN (Integrated Services Digital Network) Gateway シリーズ
- Cisco TelePresence IP Gateway シリーズ
- Cisco TelePresence Serial Gateway シリーズ
- Cisco TelePresence IP VCR シリーズ

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco TelePresence Server
- Cisco TelePresence MCU シリーズ
- Cisco TelePresence Advanced Media Gateway 3600
- Cisco Telepresence ISDN ゲートウェイ シリーズ
- Cisco TelePresence IP Gateway シリーズ
- Cisco TelePresence Serial Gateway シリーズ
- Cisco TelePresence IP VCR シリーズ

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

Cisco TelePresence Server、MCU、IP VCR、およびゲートウェイからのネットワークパケットのキャプチャ

使用する製品によって、ネットワークパケットをキャプチャする方法が若干異なります。`<interface>` パラメータは、このドキュメントの終わりにあるリストに応じて異なります。

注: MCU モビリティ サービス エンジン (MSE) 8510、TelePresence Server、AM Gateway、および Cisco TelePresence MCU 5300 シリーズを除くすべての製品では、コンパクト フラッシュ カードが製品の外部スロットに挿入されている必要があります。

一般的な構文を次に示します。

1. デバイスのコンソール ポートにシリアル端末を接続します。
2. デバイスでアクティブ コールがないことを確認します。
3. コマンド プロンプトで、次のように入力します。

```
nettap <options> <interface>
```

4. 問題を再現するため、Web インターフェイスに移動し、**問題**のエンドポイントに発信します。
5. パケット キャプチャ プロセスを停止するため、数秒間待ってからコンソールで **Ctrl+C** を押します。

ネットワーク キャプチャ ファイルには次の 2 通りの方法でアクセスできます。Web インターフェイス経由 ([Status] ページで [Download network capture file] をクリックしてファイルをダウンロードする場合)。組み込み FTP サーバ経由 (このサーバが存在しており、FTP クライアントを使用してデバイスの IP アドレスに接続し、`network_trace.cap` ファイルをダウンロードする場合)

nettap のオプション

nettap コマンドには、ネットワークトラフィックのキャプチャに役立つ可能性があるオプションがいくつかあります。

ヒント：これらのオプションは、シスコテクニカルサポートの指示に従って使用してください。

オプションは次の通りです。

- **--a** : ポートで送受信されるすべてのパケットをキャプチャします。デフォルトでは、デバイスはキャプチャフィルタを使用して収集対象パケットを制限します。デフォルトのキャプチャフィルタにより、キャプチャ実行時のシステムの負荷が軽減し、またキャプチャファイルのサイズが削減されます。
- **-i** : キャプチャで収集されるパケット数の制限 (デフォルトでは 160,000 パケット) を解除します。この制限により、キャプチャファイルのサイズが削減されます。したがって、このオプションを使用するとデバイスの CPU に対する負荷が増加し、限られているストレージスペースがいっぱいになるため、このオプションを使用するときには十分に注意してください。
- **--s** : 各パケットでキャプチャされるデータ量の制限 (通常は 128 バイト) を解除します。このオプションは、ヘッダーだけでなくパケット全体をキャプチャする必要がある場合に役立ちます。このオプションを使用すると、キャプチャファイルのサイズが増加します。
- **--h <host>** : 特定の IP アドレスに送信またはこのアドレスで受信されるパケットにキャプチャを制限します。これは、インターフェイス上でネットワークトラフィックが大量に発生するが、対象となるホストが 1 つだけ (エンドポイントなど) の場合に便利です。

インターフェイス

インターフェイスの名前は、使用している製品と、その製品で実行されているソフトウェアのバージョンに応じて異なります。

- **bge0** (ポート A) または **bge1** (ポート B) :

バージョン 3.1 以前を実行する MCU 4200/ MSE 8420 または MCU 4500バージョン 2.0 以前を実行する ISDN Gateway シリーズバージョン 2.0(1.11) 以前を実行する IP Gateway シリーズSerial Gateway シリーズIP VCR シリーズ

- **vfx0** (ポート A) または **vfx1** (ポート B) :

バージョン 3.1 以前を実行する MSE 8510バージョン 2.2 以前を実行する Telepresence Serverバージョン 1.0(1.13) 以前を実行する AM ゲートウェイ

- **A** (ポート A) または **B** (ポート B) : バージョン 4.0 以降を実行する MCU 4200/ MSE 8420 または MCU 4500

バージョン 4.0 以降を実行する MSE 8510MCU 5300 シリーズバージョン 2.3 以降を実行する Telepresence Serverバージョン 2.1 以降を実行する ISDN Gateway シリーズバージョン

2.0(3.32) を実行する IP Gateway シリーズバージョン 1.1(1.33) 以降を実行する AM ゲートウェイ